

町政を問う

一般質問



木曾病院

問 これからの木曾の観光は、郡全体や周辺町村と連携して広域的な観光地を形成する必要があるのでは。

観光商工課長 行政主導では成功しません。観光客のニーズを的確に把握し、観光協会などが主体となって取り組むことが重要と考えます。

Q これからのまちづくりと観光は
A 住民が主役のまちづくりと観光施策が必要



中村 博保 議員

問 「歴史まちづくり法」により、まちづくりの整備計画をすすめては。

企画調整課長 法制度のハードルが高く、補助金も使いづらいため、まちづくり支援

援金でこれまで整備をしてきました。

問 中心市街地活性化事業の総括と今後の方針は。

観光商工課長 今年度本町で環境整備事業をおこない、

ほぼ当初の計画が達成できます。経済産業省の診断・助言事業でさまざまな提言をいただきました。今後は住民と町とで協議をおこないます。

問 「観光圏整備法」が成立しました。自治体や観光業者などで滞在型の観光を促進し、「観光立町・木曾」を目指しては。

観光商工課長 広域連合で「観光振興プロジェクト会議」が発足し、住民協働で振興策を策定することとなりました。

Q 県立木曾病院の

A 独立行政法人化移行に不安がある

Q 県の動向を見守りたい

問 地域住民に何の説明もなく、独法化を決めた。

町長 知事は「慎重に検討している」とのことでしたが、病院事業局長は「病院を良くするために決めた」との説明がありました。

問 町も経営参画するくらいでいいので、地域住民の意見を取り入れる仕組みづくりを。

町長 町として何ができるのか、県の動向を見守って考えます。

Q 公共交通について

A 持続可能なシステムに



上田とめ子 議員

問 地域公共交通協議会が発足しましたが、今後のス

ケジュールを伺います。

企画調整課長 地域公共交通総合連携計画に反映させるため、利用促進策等の検討を、ワークショップでこない年内には方向性を出したい。